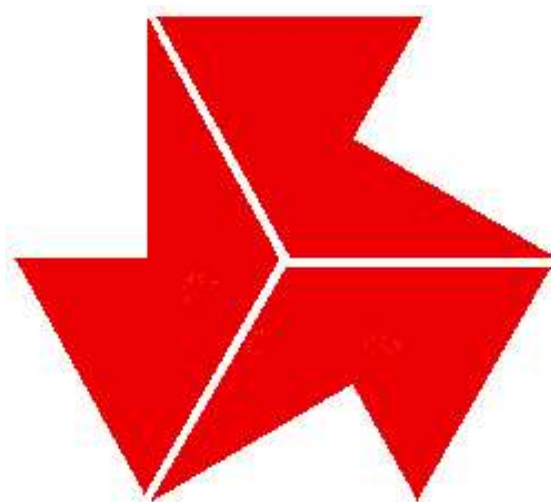


令和元年度 熊本県高等学校総合体育大会
第23回熊本県高等学校ヨット競技大会
兼全国高校総体ヨット競技九州地区予選会・
全九州高等学校ヨット競技大会予選会

当日プログラム

期日 令和元年6月1日（土）～6月2日（日）

会場 宇土マリーナ
住所：熊本県宇土市下網田町3084-1
電話：0964-58-4500



2019

主催 熊本県高等学校体育連盟
熊本県教育委員会
後援 宇土市
宇土市教育委員会
主管 熊本県高等学校体育連盟ヨット競技専門部
熊本県セーリング連盟

大会役員

会長 赤星 隆弘 (熊本県高等学校体育連盟会長)
副会長 福田 朋昭 (熊本県高等学校体育連盟ヨット競技専門部長)
大会委員長 原田 恭宏 (熊本県高等学校体育連盟理事長)
副委員長 竹村 英樹 (熊本県高等学校体育連盟ヨット専門委員長)
委員 竹下 勝明 (熊本県高等学校体育連盟ヨット専門委員)

競技役員

レース委員会 委員長 中野 真澄
副委員長 竹村 英樹
委員 竹下 勝明 長尾 圭祐

プロテスト委員会 委員長 中野 真澄
副委員長 村上 裕一 山川 満清

運営委員会 委員長 竹下 勝明
副委員長 寺本 誠一
委員 山内 啓次

発着水路部 部長 前田 光治
副部長 山内 啓次
部員 吉田美奈留 千葉崎皆人 本田 拓朗
熊井 哲人 中本竜太郎

救助部 部長 江村 知紘
部員 熊本大学ヨット部員

記録部 部長 田上 智子
部員 村上 由美

通報部 部長 山鹿 幸
部員 竹村 英樹

計測部 部長 中本竜太郎
部員 大戸 貴央

補助役員 熊本大学ヨット部員 宇土高校ヨット部OB 宇土高校ヨット部員

開 会 式

次 第

開 会
優勝旗返還
専門部長あいさつ
選手宣誓
閉 会
帆走指示書説明

閉 会 式

次 第

開 会
成績発表
表 彰
専門部長講評
閉 会

競技日程

6月1日(土)	9:00~10:00 受付 10:00~10:30 開会式 10:30~11:00 帆走指示書説明 13:25 第1レーススタート予告信号予定時刻 引き続き 第2・第3レース
6月2日(日)	9:25 第4レーススタート予告信号予定時刻 引き続き 第5・第6・第7レース 15:00 閉会式

(注) 天候その他の事情により、大会日程の時刻を変更することがある。
6月2日(日)は12時以降のスタート予告信号は発しない。

帆 走 指 示 書

1. 適用規則

本大会は2017～2020年セーリング競技規則（以下「規則」と称す）に定義された「規則」を適用する。国際F Jクラス規則については、2004年改訂版を適用する。ただし、いずれの規則も帆走指示書によって変更されたものは除く。また、いずれの規則も帆走指示書と矛盾する場合は、帆走指示書を優先させる。付則D（チーム・レース競技規則）は適用されない。

2. 参加者への通告

参加者への通告は、艇庫前に設置された公式掲示板に掲示される。

3. 帆走指示書の変更

帆走指示書（以下「指示」という）の変更は、それが発効する当日の8時までに公式掲示板に掲示される。ただし、レースの日程の変更は、それが発効する前日の17時までに掲示する。

4. 陸上で発する信号

陸上で発せられる信号は、陸上の艇庫前の信号柱に掲げられる。

D旗が音響信号とともに掲揚された場合、「出艇を許可する」ことを意味する。

予告信号はD旗降下後30分以降に発せられる。

5. レース日程（スタート予告信号予定時刻）

5.1 レースは男女とも7レースを予定する。

5.2 レース日程およびスタート予告信号時刻は次の通りとする。

	F J級・420級スタート予告信号時刻		レーザー級スタート予告信号時刻	
6月1日（土）	13:25	第1レーススタート 予告信号予定時刻 引き続き 第2・第3 レース	13:25	第1レーススタート 予告信号予定時刻 引き続き 第2・第3 レース
6月2日（日）	9:25	第4レーススタート予 告信号予定時刻 引き続き 第5・第6 ・第7レース	9:25	第4レーススタート予 告信号予定時刻 引き続き 第5・第6 ・第7レース

5.3 スタートは、F J級と420級は同時スタートとする。

5.4 レース委員会は1日最大5レースを実施することができる。

5.5 レースが海上にて引き続き行われる場合は、フィニッシュ・ラインに位置するレース・コミッティー・ボートにF旗が掲揚され、降下1分後に予告信号が発せられる。なお、次のレースのレース予告信号時刻は、本部船に掲示される。

引き続き次のレースが実施されない場合は、フィニッシュ・ラインに位置するレース・コミッティー・ボートにAP・H旗またはAP・A旗が掲揚される。

大会最終日は、12:00を越えて予告信号が発せられることはない。

6月1日（土）は、17:00を越えて予告信号が発せられることはない。

6. クラス旗

クラス旗は次の通りとする。

種 目	クラス旗
F J級	F J旗（青文字色）
420級	F J旗（青文字色）
レーザーラジアル級	シーホッパー旗（赤文字色）

7. レース・エリア及びスタート・エリア（またはフィニッシュ・エリア）

別添図Aに大まかなレース・エリアを示す。

スタート・エリア（またはフィニッシュ・エリア）は、スタート・ライン（またはフィニッシュ・ライン）の風上側・風下側にそれぞれ50m、スタート・エリア（またはフィニッシュ・エリア）のポート及びスターボードの端から外側へそれぞれ50mの四角で囲まれたエリアと定義する。

8. コース

別添図Bは、各レグ間のおおよその距離及び角度、通過すべきマークの順序及び各マークの通過する側を含むコースを示す。

マーク4からマーク1へのおおよそのコンパス方位を、予告信号以前に本部船に掲示される。

9. マーク

マーク1、2及び4は、オレンジ色の円筒形ブイである。

指示11（コースの次のレグの変更）に規定する新しいマークは、白色の円筒形のブイとする。

スタート・マークはスターボードの端にいる本部船と、ポート端にある。オレンジ色の円筒形ブイとする。

フィニッシュ・マークは本部船とスターボード端の黄色円筒形のブイとする。

10. スタート

- 10.1 レースは、規則26に基づき以下の方式で行う。なお、予告信号の5分前に注意信号（音響信号2声とともに掲揚するF旗）を発する可能性がある。この場合F旗は予告信号の1分前に音響信号1声とともに降下される。

信号	視覚信号	音響信号	スタートまでの時間
予告	クラス旗掲揚	1声	5分
準備	P旗・I旗・Z旗・黒色旗の掲揚	1声	4分
1分	P旗・I旗・Z旗・黒色旗の降下	長音1声	1分
スタート	クラス旗降下	1声	0

- 10.2 スタート・ラインは、オレンジ色の円筒形ブイと本部船でオレンジ色の旗を掲げているポールまたはマストの間とする。

- 10.3 スタート信号後4分以降にスタートする艇は、“DNS”として記録される。これは、付則A4を変更している。

11. コースの次のレグの変更

次のマークの位置の変更は、規則33に基づき行われる。レース委員会は、新しいマークを設置（フィニッシュ・ラインを移動）して実行できれば直ちに元のマークを撤去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

12. フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、本部船のオレンジ旗を掲揚しているマストまたはポールとスターボード端のフィニッシュ・マークの間とする。

13. 回転報告

- 13.1 規則42違反に対し付則Pを適用する。

- 13.2 規則31.2または44.1に基づき回転ペナルティーを履行した艇は、抗議締切時間内にプロテスト委員会に回転報告書を提出しなければならない。

14. タイムリミット

- 14.1 先頭艇のタイムリミットを70分とする。

- 14.2 タイム・アローアンス

先頭艇がタイムリミット内にフィニッシュした場合は、先頭艇フィニッシュ時刻の15分後にレースは終了する。15分以内フィニッシュしなかった艇は、“DNF”として記録される。これは、規則35

及び付則A4を変更している。

14.3 14.1 および 14.2 でいう先頭艇は、スタート時に“OCS”及び“BFD”として記録された艇以外の艇で、コースを帆走して最初にフィニッシュした艇とする。

15. 抗議と救済の要求

レース・エリアで関与したか、または目撃したケースに関して抗議しようとする艇は、そのレースのフィニッシュ後、直ちにフィニッシュ・ライン付近に位置するレース・コミッティー・ボートに抗議の意志を口頭で伝えなければならない。これは、RRS61.1を変更している。艇が伝えることが不可能な状況にある場合は、この限りではない。

抗議書はプロテスト委員会事務局で入手できる。抗議は抗議締切時間内にプロテスト委員会事務局に提出されなければならない。抗議締切時間は公式掲示板に掲示する。

抗議締切時間は、その日の当該クラスの最終レース終了後60分とする。同じ抗議締切時間を救済の要求にも適用する。

抗議の公示

レース委員会又はプロテスト委員会からの抗議を規則61.1(b)に基づき被抗議艇に伝えるために、当該委員会は“抗議の公示”を掲示する。

抗議の通告

審問の場所及び時刻、抗議の当事者、又は証人として指名されたものを競技者に知らせるため“抗議の通告”を抗議締切時刻後30分以内に掲示する。

15.6 審問の順序及び待機場所

(a) 審問は基本的に抗議受付順に行う。

(b) 当事者は、プロテスト委員会事務局前に待機していなければならない。

指示13.1に基づき規則42違反を認めたか、またはプロテスト委員会により失格とされた艇のリストは、抗議締切時間前に公式掲示板に掲示される。

指示の13.2、17.2、18、20の違反は、艇による抗議の根拠とはならない。この項は規則60.1(a)を変更している。これらの違反に対するペナルティーは、プロテスト委員会が決めた場合は、失格より軽減することができる。

大会最終日では、審問の再開の要求は、次の時間内に提出されなければならない。

(a) 再開を要求している当事者が前日に判決を通告された場合は、抗議締切時間内。

(b) 再開を要求している当事者がその当日に判決を通告された後20分以内。

この項は、規則66を変更している。

16. 得点

付則A4の「低得点方式」を適用する。

本大会は、1レースの完了をもって成立する。

失格(DSQ、DNE)、または規則30.3に基づき失格(BFD)とされた艇の得点は、「参加艇数+3点」とする。これは付則A4.2を変更している。

指示17.2の出艇・帰着申告違反艇はレース委員会により“PTP”として記録され、確定順位に3を加えた得点が審問なしにペナルティーとして与えられる。ただし、“DNF”より悪い得点が与えることはない。この項は、付則A5を変更している。

出艇申告違反の場合は直後に行われたレース、帰着申告違反の場合は直前に行われたレース、出艇帰着ともに申告しなかった場合はその間に行われた全てのレースに対してペナルティーが与えられる。

その艇が“PTP”で、尚且つ“ZFP”でもある場合、“ZPT”として記録される。

ソロ競技における艇の得点は、4レース完了の場合は、全てのレースの得点の合計とし、5レース以上が完了した場合は、その艇の最も悪い得点を除外したレースの得点の合計とする。

デュエット競技の得点は、チームを構成する(学校の)FJ級と420級の各最上位艇のソロ競技得点の合計とし、順位は合計得点の少ない方を上位とする。

ただし、FJ級および420級に参加艇がなかった場合は、参加のなかったクラス(級)に仮想艇を設け、その得点は、DNCの得点×完了レース数(5レース以上完了の場合は-1)である。従って、どちらか一方のクラスにしか参加がなかった場合のそのチームのデュエット競技得点は「参加艇

のソロ競技の得点+DNCの得点×完了レース数（5レース以上完了の場合は-1）」の得点を与える。

学校対抗（団体）順位は、F J級・420級・レーザー級の競技得点合計が低い学校を上位とする。

17. 安全規定

出走届は、レース初日の出艇申告時に通報部へ提出しなければならない。その後、乗員の変更がある場合は、その都度新たに出走届を出艇前に通報部へ提出しなければならない。引き続きのレースで海上で乗員が交替する場合は、本部船に口頭でその旨を伝え、帰着時に出走届を提出しなければならない。

出艇及び帰着申告は艇長のサイン方式を用いる。艇長は所定の“出艇・帰着申告書”に自ら署名することにより申告を完了させなければならない。

出艇申告は、スタート予告信号予定時刻の60分前から受付ける。出艇申告は遅くとも出艇前には完了させなければならない。引き続きレースが予定されている場合は、そのレースも併せて申告しなければならない。

帰着申告は、帰着後速やかに行わなければならない。その日の最終レース終了後に帰着申告する場合は、遅くとも抗議締切時刻までに完了しなければならない。

レースをリタイアする艇は、速やかにレース海面を離れ、リタイアの意志を近くのレース・コミッティー・ボートに伝えなくてはならない。また、リタイアした艇の艇長は、帰着申告を行った上、レース委員会で入手できる所定の“リタイア報告書”に記入署名し提出しなければならない。

各艇の乗員は、離岸から着岸まで、有効な浮力を有するライフジャケットを着用しなければならない。

レース艇が自から救助を求める場合は、救助する船に対して、片手を高く上げて合図を送ること。

レース委員会又はプロテスト委員会は、艇が安全に帆走できないと判断した場合は、リタイアを勧告することができる。また、艇が緊急救助を必要とするような危険な状態だと判断した場合は、強制的に救助活動を行うことがある。

参加艇は、レース中、長さ10m以上（直径6mm以上）の曳航ロープを搭載しなければならない。また、レース委員会は、アンカー及びアンカーロープの搭載を指示することがある。

18. 装備の交換

損傷または紛失した装備の交換は、レース委員会の承諾なしでは許可されない。交換の要請は、最初の適当な機会にレース委員会に行わなければならない。

19. 運営艇

運営艇の標識は、次の通りとする。

レース・コミッティー・ボート	白 色 旗
プロテスト・コミッティー・ボート	ピンク色旗

20. 無線通信

艇は、海上において無線通信を行ってはならない。この制限は、携帯電話にも適用する。

21. 責任の否認

競技者は、完全に自己のリスクで大会に参加している。規則4「レースすることの決定」参照。主催団体は、大会前、大会中または大会後と関連して受けた物的損傷または個人の負傷もしくは死亡に対する責任を否認する。

22. 賞

実施要項のとおり、各種目別に賞を与える。

図A：レースエリア海面



F J級・420級 (図B：レース・コースはI、IIの選択)

コース I ;

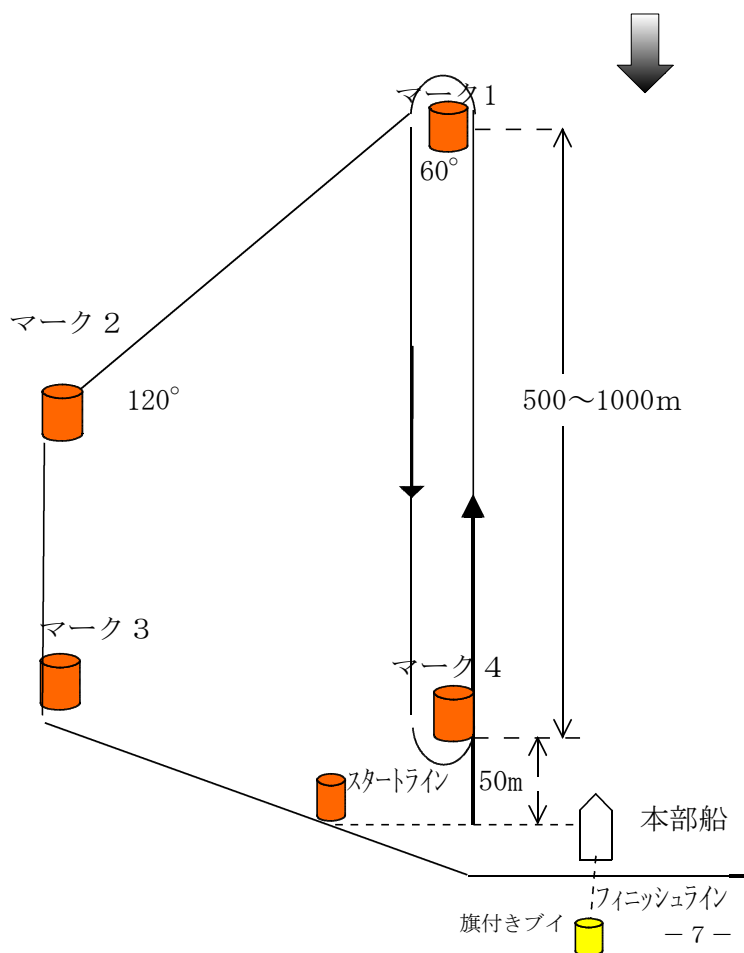
スタートライン→マーク 1→マーク 4→マーク 1→マーク 2→マーク 3→フィニッシュライン

コース II ;

スタートライン→マーク 1→マーク 2→マーク 3→マーク 2→マーク 3→フィニッシュライン

シングルハンダー ;

スタートライン→マーク 1→マーク 4→マーク 1→マーク 2→マーク 3→フィニッシュライン



F J 級 出場選手名簿

性別	高校名	セール番号	選 手		選 手	
			氏 名	学年	氏 名	学年
男子	宇土高校 A	1 4 6 1	ますだ よしき 増田 圭希	2	こんどうりん たろう 近藤 麟太郎	2
	宇土高校 B	1 4 2 5	ほんだ ともや 本田 智也	2	てらもと あおい 寺本 葵	2
	宇土高校 C	1 4 6 0	よしむら つかさ 吉村 元	1	たかはま だいち 高浜 大智	1

4 2 0 級 出場選手名簿

性別	高校名	セール番号	選 手		選 手	
			氏 名	学年	氏 名	学年
男子	宇土高校 A	5 5 8 2 9	にしき みしろうのすけ 錦見 昇之介	3	なりた ひかる 成田 暉	2
	宇土高校 B	5 5 0 9 0	たまき ゆうしん 玉城 雄晨	3	はらぐち たいき 原口 太希	3
	宇土高校 C	5 5 0 9 1	やまうち りょうへい 山内 涼平	3	すぎもと たいせい 杉本 大征	3

レーザーラジアル級 出場選手名簿

性別	高校名	セール番号	選 手		選 手	
			氏 名	学年	氏 名	学年
男子	宇土高校 A	1 6 2 1 5 4	ふじもと わたる 藤本 航	3		
	宇土高校 B	2 1 5 3 5 8	あらかし こうた 荒木 晃太	3		
	宇土高校 C	2 1 3 9 2 3	おおすぎ たつや 大杉 武也	2		
	宇土高校 D	1 6 4 1 6 8	ひがし こうたろう 東 耕太郎	2		

6 月 潮位表 (三角)

日	曜	干 潮				満 潮			
		時刻	潮位	時刻	潮位	時刻	潮位	時刻	潮位
1	土	1:08	109	13:33	52	7:07	364	19:50	375
2	日	1:53	102	14:14	30	7:46	376	20:35	390
		日出 5:11		日没 19:21					

気象庁ホームページによる